

富士見市立本郷中学校だより



群 青

令和7年度埼玉県学力・学習状況調査報告

群青 県学調号

1 調査の目的（埼玉県教育委員会HPより）

県教育委員会では、子供たちが現在の実力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいと考えています。

そして、自信を持った子供たちが、自分をさらに伸ばし、自分のよさを活かしていけるような教育を進めていきたいと考えています。本調査は、「学習した内容がしっかりと身に付いているのか」という今までの視点に、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えることで、子供たちの成長していく姿が見える、全国でも初めての調査です。

2 分析結果と課題（令和7年4月30日・5月1日・5月8日実施）

（1）学力（平均正答率・学力の伸び・昨年度一年間で伸びた生徒の割合）

3年国語	R7平均	R5中1	R6中2	R7中3	学力の伸び	伸びた生徒
埼玉県	57.0	8-C	8-C	8-A	2	74.5%
本郷中	53.5	7-A	7-A	8-A	3	79.2%
3年数学	R7平均	R5中1	R6中2	R7中3	学力の伸び	伸びた生徒
埼玉県	56.7	7-C	7-A	8-B	2	63.8%
本郷中	53.9	6-A	7-A	8-C	1	54.9%
3年英語	R7平均	R5中1	R6中2	R7中3	学力の伸び	伸びた生徒
埼玉県	51.5	—	9-C	10-C	3	81.8%
本郷中	49.5	—	9-C	10-C	3	77.5%
2年国語	R7平均	R6中1	R7中2		学力の伸び	伸びた生徒
埼玉県	54.6	7-A	8-C		1	64.5%
本郷中	51.7	7-C	7-A		2	70.6%
2年数学	R7平均	R6中1	R7中2		学力の伸び	伸びた生徒
埼玉県	51.5	6-B	7-A		4	84.6%
本郷中	50.0	6-C	7-B		4	87.3%
2年英語	R7平均	R6中1	R7中2			
埼玉県	60.2	—	9-C			
本郷中	60.7	—	9-C			
1年国語	R7平均	R7中1				伸びた生徒
埼玉県	62.5	8-C				83.1%
本郷中	61.0	7-A				82.4%
1年数学	R7平均	R7中1				伸びた生徒
埼玉県	52.0	6-A				66.5%
本郷中	50.2	6-B				73.1%

（２）結果分析

この学力調査は、設問ごとに難易度が設定されており、前年度 B レベルの問題を解けた生徒が今年度も B レベルの問題を解けていれば着実に伸びていると判定されます。また、小学校 4 年生から中学校 3 年生まで 6 年間継続して、児童生徒個人の学力の伸びを追っていきます（1 年生は、データの引継ぎにより、小学校時代からの学力の伸びも反映されています）。よって、全体の平均値や個人の「学力」が県平均を上回っているかなどという視点ではなく、全体や個人が昨年度 1 年間でどれだけ伸びたかに着目します。ご家庭でも、個人結果票のグラフが着実に階段状に上がって行っているかをご確認ください。

※レベルは数字 3 段階で上がり、アルファベットも 3 段階（C⇒B⇒A）で上がる。

【3 年生】

国語は、昨年度一年間で大きく伸び、学力レベルも県と同等になってきた。「話すこと・書くこと」のアウトプットの力を伸ばすとさらに向上する。**数学**は、「図形」を得意とするが、「関数」や「データの活用」を苦手としている。**英語**は、「話すこと」を得意とする一方、「書くこと」を苦手としている生徒が多い。

【2 年生】

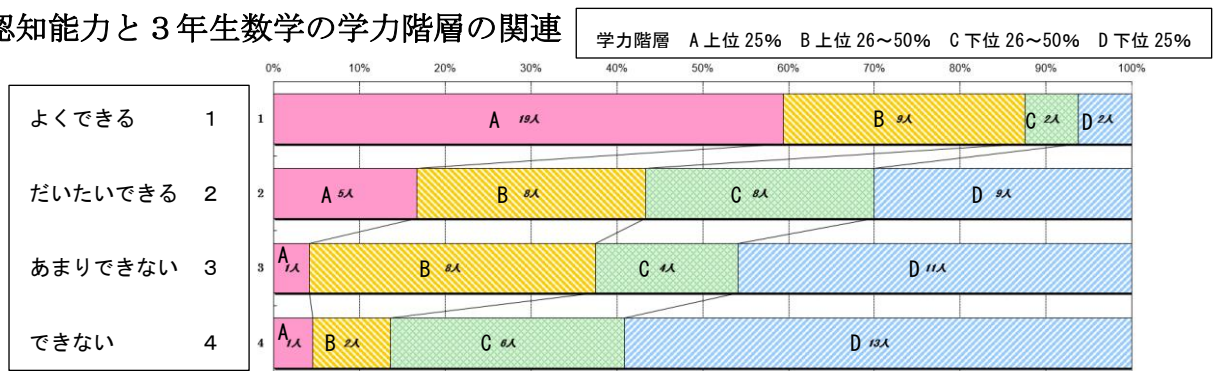
国語は厳しいスタートだったが、大きく伸びた。まだ県平均には届いていないが、得意・不得意なく得点できるようになってきた。**数学**は伸びた生徒が多く、苦手意識を払しょくしてきた。記述式問題でも粘り強く解答すればさらに伸びてくるはず。**英語**は、県平均を上回るスタート。「話すこと」を中心にバランスよく解答できている。

【1 年生】

小学校 6 年次の学習内容・伸びが問われた。**国語**では、「読むこと」の領域を得意とするが、漢字など基礎的知識の習得が不十分との結果が出た。とくに苦手としている。考えたことをまとめ、発表するところまで徹底させていきたい。**数学**（算数）では、県平均は下回るが伸びた生徒も多く、バランスよく加点できている。難解な問題でも無解答率が低く、粘り強く問題に取り組んでいる生徒が多い。

3 質問紙調査と学力の相関関係（3 年生質問紙調査より）

非認知能力と 3 年生数学の学力階層の関連



学力テストでは測れない、自己肯定感・粘り強さ・協調性・感情のコントロール・好奇心などとされる「非認知能力」が高い生徒は学力（認知能力）も高いことがわかる。テストで測る学力の向上は一朝一夕にできることではないが、本校では引き続き社会や仕事、人間関係など幅広い場面で生きる力になる「非認知能力」の育成に教科の指導や学級活動等、すべての教育活動において組織的に取り組んでいく。